

# 私も応援しています

**松谷みよ子さん（作家）** 「3つ子の魂100まで」と言いますが、小さな子どもの感受性がどんなに豊かなものなのか、練馬の区長・保育行政の責任者は何も分らないように思います。親が読み聞かせることだけで、子どもは大変想像力を豊かにすることができます。保育士さんたちの毎日の子どもへの働きかけで、子どもが大変温かい気持ちと恵みを受けています。区長さんは何もご存知ないのでしょうか。「民間委託」で保育士さんが総取替えになることは、子どもに大きな戸惑いと悲しみを与えるのは誰でもわかります。子どもの気持ちを無視した「民間委託」は許せません。今すぐ撤回して下さい。

**小川政亮さん（日本社会事業大学名誉教授）** いま、国は社会保障費の大削減を進めていますが、保育園の民間委託化もその一環です。しかも保育園の場合は、民間委託することで、公的責任の転嫁と多くの無権利状態の労働者を生み出し、ワーキングプア化します。そのことによって憲法が保障している「健康で文化的な生活」の実質が形骸化していきます。子どもたちの健康で豊かな文化をはぐくむためにも保育園の「民間委託」は即刻止めるべきです。トーク&ライブの成功を祈念いたします。

**有原誠治さん（アニメーション映画監督）** 道理のない保育園民間委託を即時中止すべきです。テレビのアニメ、テレビゲームなど子どもをめぐる文化状況は劣悪化していますが、公立保育園の保育こそが子どもの文化を守り育てています。子どもたちのために、公的保育を守ろうと奮闘しているみなさんに敬意を表します。

**浅井春夫さん（ほうんネット代表世話人）** 宮下さんと笠本さんの勇気ある行動とともに支援者のみなさんに心からの連帯のあいさつをお送りするとともに支援イベントの成功を祈っております。私も参加しなければならぬ責任を感じている人間ですが、当日は福岡におり、失礼をいたします。アウグスティヌスの言葉に、希望を語ったものがあります。「希望には、ふたりの娘がいる。ひとりは怒りであり、もうひとは勇気である。」この保育裁判もまた行政の不当なやり方に対する人間的な怒りと、この現実を変えるために行動する勇気の具体化といえます。希望を胸に、子どもを大切にするとりくみが続けていきましょう。保護者の名にかけて、保育者の名にかけて、この裁判をみんなの裁判として取り組んでいきましょう。勝たなければならない裁判です。人間として譲ってはならない問題です。希望は私たちの取り組みであり、私たち自身が希望であるのです。

**原和良さん（弁護士）** 民営化・民間委託のキーワードはコストパフォーマンス。子育ても、医療もすべて金に換算する世界です。でも、私たちはお金の奴隷になってはいけません。お金よりも大事なもの、お金に代えられない大事なものがある～それが子育てであり、未来を担う世代を立派に育て上げることが私たち大人の役割ではないでしょうか。練馬の裁判は、子どもたちに胸を張って自慢できるたたかいです。この運動を全国に広げていきましょう。

## チケット及び保育申し込み書

氏名	電話番号	チケット枚数
保育を必要とするお子さんの氏名と年齢		